
貝ばかりの星

レールway

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

貝ばかりの星

【Nコード】

N4863F

【作者名】

レールway

【あらすじ】

容姿も頭脳も運動も万能な中学生「村森隆一」。彼は私立の中学校に入学する。しかし、隆一に待っていた悪影とは…。

貝ばかりの星

「行ってきます」

誰よりも早起き

誰よりも元気

誰よりも天才

誰よりもイケメン…

彼の名は

「村森 隆一」

隆一は中学校受験をした。親に強制でやらされたわけではない。隆一は必死に勉強し、第2志望校に合格した。第1に落ちた時は泣きに泣いたが、

「これは運命なのだ。」と言った。第1志望校に落ちたことに父母は怒りもなかった。

ただ泣きじゃくる隆一を見てひたすら励ました。

そして今日は人生の節目。その中学校の入学式なのだ。隆一はワクワクしていた。

「この学校でさらに自分を磨き、大学受験に臨んでやる」（中高一貫）

やる気に満ちていた。

学校は家から1駅。そこからスクールバスだ。

ところがさすがの隆一も校門に入ると緊張しまくった。しばらくは父母の問いかけにさえ適当に答えていた。

そして、クラスは……。4組……。出席番号は30番。
隆一の興奮はますます激しくなり、やる気がさらに上がる。

そして、入学式。

先生に指示された通りに体育館に入場。吹奏楽部は凄い演奏で迎えてくれた。

……入学式も無事に終わり新鮮な毎日が始まろうとしていたはずだったが……

この小説はフィクションです。

つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4863f/>

貝ばかりの星

2010年11月2日14時46分発行